



認知症になると想いを表に出しづらくなり、代わりに起こす行動が“周囲には理解できないもの”と映ってしまうことが多くあります。

表面的な行動は「徘徊」「帰宅願望」「入浴拒否」「暴力・暴言」などの様々な言葉で表され、“認知症だから起こすもの”と思われがちです。しかし、認知症がある方を取り巻く「問題」とされるものは、ご本人の問題ではなく、ご本人を取り巻く周囲の理解やコミュニケーションが大きく影響していることが多いということを、ご本人の視点を体験することで理解につなげることを目的としたプログラムです。(体験人数110,000人 2023年3月現在)

「認知症を学ぶ」のではなく「認知症を体験する」ことで認知症のある方への理解を深めることを目指しています。

VR認知症体験会は、参加人数分のVR機材と講師を派遣して実施する約90分の研修プログラムです。

90分で3つの症状を体験し、体験ごとに参加者同士で「本人の視点に立ったときに何を感じ何を思ったか」を話し合い、認知症がある方を取り巻く環境をどの様に変えることが状況改善につながるのか意見を出し合い、さらに制作協力いただいている認知症当事者の方のインタビューを聞きながら認知症がある方を取り巻く問題の本質に迫る内容です。



グループディスカッション



当事者インタビュー

VR認知症は「銀木犀」から生まれました



VR認知症体験プログラムは、当社が運営するサービス付き高齢者向け住宅「銀木犀」から生まれました。銀木犀は入居者の約9割の方が、軽度認知障害（MCI）を含めた認知症のある方たちです。入居者の方たちと関わる中で、社会の認知症に対する偏見を感じてきました。

自分が認知症を経験したことがないから、認知症のある方に共感をしにくく、「もう何も分からなくなってしまった人」「何だか怖い」といった感情につながるのでは。そんな思いから、認知症がある方たちの世界を一人称体験する「VR認知症」が生まれました。

体験者の声

認知症については、全て理解しているつもりでいたが、上から目線だったのかもしれない。“症状”を見て“ご本人”を見ていなかったのかもしれない。

● 認知症専門医

認知症の方の気持ちを理解し寄り添いたいと思って来たがなかなかできなくて苦しんでいた。体験を通じてこれから自分がどうしていけばいいのかわりとわかった気がして涙が出た。

● 介護職員

認知症に対して「大きな負」のイメージしかなかったが、体験を通じて負のイメージがなくなった。

● 大学生

10年前にこの体験ができていたら自分の母親に対する介護が変わっていたかもしれない。今介護をしている家族に見てほしい。

● 介護家族

今まで受けてきた講義とは全く違う理解の仕方で驚いた。VR体験の力に大変驚かされた。

● 認知症認定看護師

現在父親の介護中だが早速、接し方を変えていきたいと思った。

● 介護家族

「VR認知症」を体験するには

導入パターンは、以下の方法があります。

A) 体験会を開催する

- (a) VR体験会
- (b) VR + 講師オンラインのハイブリッド体験会
- (c) オンライン体験会（VRなし）

B) レンタルする

- (a) コンテンツが入ったVR機材をレンタル
- (b) コンテンツのみをレンタル（VR機材はご自身で準備）

※ 詳細および費用については次ページ以降をご参照ください。

※ ご検討中の方を対象に、事前体験のご案内も可能です。

導入パターンA) 体験会を開催する

体験会は90～120分で、3つの体験をします。体験毎に参加者同士で「本人の視点に立ったときに何を感じ何を思ったか」を話し合い、どの様に周りが配慮することができれば状況改善につながるのか意見を出し合い、学びを深めていきます。また、制作に協力いただいた認知症当事者の方のインタビューを聞きながら認知症がある方を取り巻く問題の本質に迫ります。

(a) VR体験会

- 参加人数分のVR機材とファシリテーターを派遣し、集合研修で開催します。



ファシリテーターを派遣



VR体験（1人1台）



グループディスカッション

(b) VR + 講師オンラインのハイブリッド体験会

- Web会議システムを活用し、会場とファシリテーターをオンラインで繋ぎ、スクリーン越しに進行させていただきます。
- 参加人数分のVR機材をあらかじめ会場にお送りし、主催者がオンラインで繋いだ講師の指示のもとVR機材の準備をします。



- ※ 複数の会場に分かれての開催もご相談可能です。
- ※ インターネット環境や会場の音響確認などのため、事前に接続確認をお願いしております。

(c) オンライン体験会（VRなし）

- Web会議システムを活用し、参加者もファシリテーターも全員オンラインで参加します。

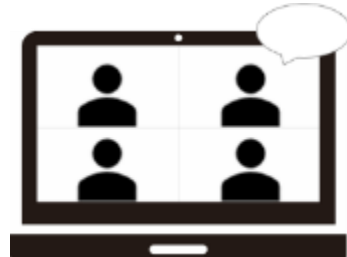
※ オンライン体験会は、VRは使わずに、オンライン上でVRの映像をご視聴いただきます。



Web会議システムを活用



パソコンなどのデバイスで視聴



オンライン上でグループに分かれディスカッション

■体験会の開催費用 ※詳細は御見積いたします ※すべて税抜き表記

基本料金は以下の合計です。

- (a) VR体験会 ①～⑥
- (b) VR + 講師オンラインのハイブリッド体験会 . . ①～④
- (c) オンライン体験会（VRなし） ①' ～②

① 【VR】プログラム使用料

	1回開催の場合		同日2回開催の場合		同日3回開催の場合	
	費用	(1人あたり)	費用	(1人あたり)	費用	(1人あたり)
30名プラン	120,000	4,000	192,000	3,200	234,000	2,600
40名プラン	150,000	3,750	240,000	3,000	300,000	2,500
50名プラン	170,000	3,400	280,000	2,800	360,000	2,400

①' 【オンライン】プログラム使用料

	1回開催あたり			1回開催あたり	
	費用	(1人あたり)		費用	(1人あたり)
30名プラン	120,000	4,000	60名プラン	192,000	3,200
40名プラン	150,000	3,750	70名プラン	224,000	3,200
50名プラン	170,000	3,400	80名プラン	240,000	3,000

※80名以上も対応可能です。詳しくはお問い合わせください。

② ファシリテーター費用

	1回開催の場合	同日2回開催の場合	同日3回開催の場合
費用	30,000	50,000	70,000

③ 機材輸送関連費（台数により変動）

④ VRマスク（35円×参加人数）

⑤ ファシリテーター交通費（新浦安駅からの往復実費 1名分）

⑥ 移動人件費（一律30,000円。東京／埼玉／千葉／神奈川は不要）

- ※ ファシリテーターの稼働開始時間が8:00より早い場合は早朝対応料金、稼働終了時間が18:00より遅い場合は夜間対応料金として各15,000円をいただきます。
- ※ 宿泊を伴う場合は、移動人件費は発生せず、代わりに宿泊拘束費（宿泊費込み）として50,000円をいただきます。
- ※ 土日祝日開催の場合は①①' ②⑥、早朝・夜間対応料金、宿泊拘束費が20%UP料金となります。
- ※ 体験会の基本構成は90分ですが、追加料金で時間を延長して、VR体験の数を増やしたり、グループディスカッションの時間を長くするなどのアレンジも可能です。

導入パターンB) レンタルする

レンタル内容には、VR認知症のコンテンツ6本と当事者インタビュー映像2本（YouTube映像）が含まれます。ご希望の場合は、VR発達障害のコンテンツも併せてレンタルしていただくこと可能です。

【認知症コンテンツ】



視空間の失認の症状を体験する。距離感がつかめなくなる状況を再現。認知症がある方の『問題行動』とされるものには理由があることに気づく。(2分)



レビー小体型認知症の幻視を再現したコンテンツ。レビー小体病当事者の樋口直美さん完全監修。(5分)



電車でどこで降りるのかわからなくなる状況を体験するコンテンツ。症状だけを見るのではなく、その症状がある方の気持ちを想像する力につなげる。(5分)



認知症と診断された本人を取り巻く家族の対応を2パターンに分けて体験する。おじいちゃんを責め続ける家族と、優しく受け止める家族。本人に対する影響を体験する。(10分)



『やすおじいちゃん物語』とセットで体験するコンテンツ。家族（息子）を取り巻く事情を息子の視点で体験する。(10分)



39歳で認知症と診断された丹野智史さんがモデルの物語。認知症と診断され、落ち込み、鬱病を経て前向きに立ち直るまで、家族、会社、友人がどのように彼を支えたのかを追体験する。(19分)

【発達障害コンテンツ】



発達障害のADHD（注意欠如多動性障害）の「不注意優勢型」の方の思考の変化を体験する。(6分)



発達障害のASD（自閉症スペクトラム障害）の方の特性に多い「聴覚過敏」を体験する。(2分)



発達障害のASD（自閉症スペクトラム障害）の方の特性に多い「視覚過敏」を体験する。(3分)

【当事者インタビュー】 ※YouTubeまたはVRで視聴



50歳でレビー小体型認知症と診断された樋口さん。「レビー小体病幻視編」の制作に込めた思いについて。(4分)



39歳で認知症と診断された丹野智文さん。見当識障害を持ちながら一人で通勤されている中で感じた思いについて。(2分)



ADHD不注意優勢型 当事者のyu-kaさん。「ADHD不注意優勢型」のモデルになった方。(8分)



五感の感覚過敏を持つ吉野さん。「感覚過敏～聴覚編～、～視覚編～」を体験いただいた後に見ていただくもの。(5分)

レンタルには下記2パターンがあります

※VRの特性上、屋内での利用に限定しています。

(a) コンテンツが入ったVR機材をレンタル

- 1台から最大10台までレンタル可能（運用ご担当者様が1名の場合は最大5台、複数名で運用していただける場合は最大10台でご案内させていただいております。）
- 4泊5日の短期レンタルから、1カ月単位での長期レンタルまで。

(b) コンテンツのみをレンタル（VR機材はご自身で準備）

- 1台からレンタル可能
- 1カ月から年単位でのレンタル
- コンテンツ保護の観点で上、弊社指定のVR機種を準備いただく必要があります（代理店は問いません）
- レンタル開始時にVR機材を弊社にお送りいただき、初期設定・コンテンツ導入をしてお返しします。レンタル期間終了時にVR機材を再度弊社にお送りいただき、コンテンツを削除させていただきます。
- ご利用に際し事前にコンテンツ利用許諾契約書を締結いただきます。

■ご利用イメージ

- 新卒・中途採用活動
- 社内研修
- 契約者様が運営する施設において契約者様が主催するイベント



学校へ訪問し認知症に対する
理解促進活動とともに先生との関係構築に活用



就職イベントでブースへの呼び込みに活用



社内職員を対象にしたワークショップに活用



運営施設での地域住民向けのイベントに活用

■ レンタル費用 ※詳細は御見積いたします

※すべて税抜き表記

(a) コンテンツが入ったVR機材をレンタル

項目	費用	
① コンテンツ入りVR機材レンタル 1セット (VRゴーグル、スマホ、ヘッドホン 各1台)	4泊5日プラン 1万5千円／セット	1か月プラン 5万円／セット
② VRマスク (使い捨て)	35円/枚	
③ 機材輸送関連費	台数により異なる	
④ 事前レクチャー (オンライン (Zoom等) で実施、 所要時間 約1時間)	認知症 1万円 発達障害1万円 ※ご希望のテーマをご案内します ※各コンテンツの簡易解説資料付	
⑤ 【オプション】講義資料 (パワーポイントで各40ページ程度)	認知症 10万円 発達障害 10万円	

(b) コンテンツのみをレンタル (VR機材はご自身で準備)

※購入いただいたVRを弊社に郵送頂きコンテンツを導入します

項目	費用	
① 初期設定基本料	10万円／台数に関わらず一式	
② コンテンツ導入手数料	3千円／1台	
③ コンテンツレンタル料 (VR1台当たり)	月契約プラン 1万円／月	年契約プラン 10万円／年
④ 機材輸送関連費	台数により異なる	
⑤ 事前レクチャー (オンライン (Zoom等) で実施、 所要時間 約1時間)	認知症 1万円 発達障害1万円 ※ご希望のテーマをご案内します ※各コンテンツの簡易解説資料付	
⑥ 【オプション】講義資料 (パワーポイントで各40ページ程度)	認知症 10万円 発達障害 10万円	

【VR機材参考価格】 ※ご注文時期によって価格が変動する可能性があります。



VRゴーグル
(推奨機種：Pico G2 4K)
3万～4万円／1台



Micro SD
32ギガ
数千円／1枚



ヘッドホン
数千円／1個

※VRマスク (使い捨て) や
VRの充電器 (Type-C) は
別途ご用意ください

お問い合わせ

株式会社シルバーウッド VR事業部 (<http://angleshift.jp>)
VR@silverwood.co.jp

